

みんな みんな

特定非営利活動法人

2000年 3月1日 Vol.14
せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

○と□と△と

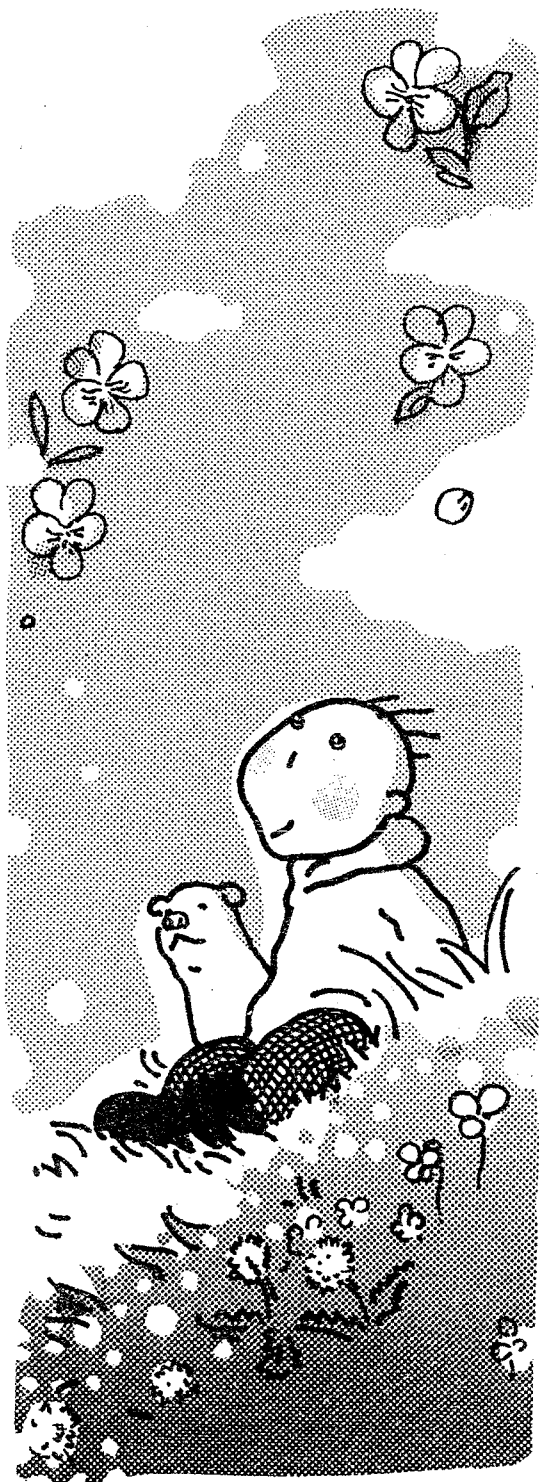
NPOには「セクター論」というのがある。政府（官）が第一セクター、企業（産）が第二セクター、NPO（民）は第三セクターというわけである。一応、活動の原資が税金であるか、企業利潤であるか、その他かで区分されている。最近、この区分があいまいになりつつある。活動原資が入り乱れてきたわけではない。組織原理が流動化しつつあるのだ。大小を問わず、組織には「理念」と「目的」と「システム」が必要である。これを組織原理という。従来、官の組織原理は「公平」を理念とし、「統治」を目的とし、「統制」をシステムとしてきた。典型的なピラミッド型組織である。一方、産の組織原理は「継続企業」、「利潤獲得」、「管理」であり、ピラミッド型の修正組織が多い。そして、NPOは「公共」のため「社会的価値」を創出する「自律的」な解放型フラット組織ということになる。

これをこじつけると、官はピラミッド重視だから△、産は儲け（紙幣）重視だから□、民は個人のつながり（輪）がベースだから○となる。ところが、NPOと称するグループのなかには、△や□が目立つところもちらほらするようになった。別に悪いわけではない。多様性に富むところがNPOたる所以でもあるのだから。むしろ問題は、官や産の中に、時代に乗遅れまいと妙な変身をするところがあることだ。NPOへの風が順風になってきたときこそ、自らが関わるNPOの組織原理をあらためて問う姿勢が必要なのではあるまいか。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 川村 志厚

内容

NPO法人の新しい動向
デラウェア研修レポート、「私のNPO体験」
大好評！NPOマネジメント実践講座
講座のお知らせ・部会報告
東北リレートーク
本・事務局活動報告
催事、みんな歳時記



NPO法人の新しい動向

せんだい・みやぎNPOセンター代表理事 加藤 哲夫

2000年2月10日現在の全国の特定非営利活動促進法に基づく申請受理数累計は、1958件、および認証数累計は、1421件・不認証数累計は、5件である。宮城県においては、申請受理数43件、うち認証数31件である。この増加傾向は今後も続くと思われる。1998年12月1日施行から1年を経て、次第に同法に対する理解も広がりを見せ、様子見状態だった団体も法人化を検討するようになってきていることがうかがえる。従来からの団体の理解が進むことは間違いないし、また、まったく新しく法人として民間公益活動に参入する人々が現れてきたことも注目に値する。

専門技能を生かして NPO法人を設立

認証された特定非営利活動法人（以下NPO法人と略称する）の中には、従来の制度の枠内に収まらなかった新しい動向が見えている。例えば、北九州では、不動産鑑定士や土地家屋調査士、税理士、行政書士などの専門職の人々が結集して、住宅のメンテナンスのアドバイスを通じて、住宅の寿命を延ばし、中古住宅

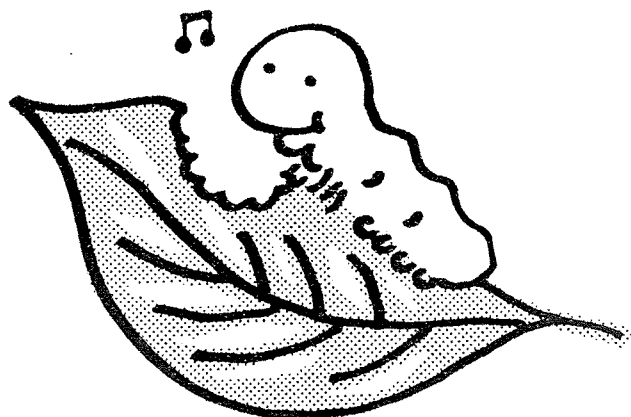
の価値を上げようという活動をするNPO法人を設立した。自らの専門的スキルを公益的な活動に投入するための器として特定非営利活動法人を選択した例である。

また、宮城県では、NTTグループの企業人と退職者による「でんでん宮城いきいきネットワーク」が申請されているが、これは企業人や退職者による新たな社会参加運動としての法人設立と言えるだろう。企業の持つ人的資源などをより公共的に使う方向性が生まれていく可能性を示すものだ。この例を言うのではないが、終身雇用が崩壊し、退職後の保障もおぼつかなくなった企業が、社員の自立や生き

がい提供の場を会社一辺倒から地域活動に求めていくという側面もあることは事実だ。

スキー場、ラーメン、図書館・ 多彩な活動内容

また、宮城蔵王白石スキー場の経営を白石市より委託された「不忘アザレア」も、困難な地域課題の解決を住民参加で担おうとする勇気ある挑戦と言える。熊本には「ボランティア仲間九州ラーメン党」というユニークな名前のNPO法人がある。福祉と災害救援に活躍するボランティア集団だが、収益事業として半生手延べラーメン「拉（らう）めん」を商品開発、



販売している。もちろん収益はすべて法人の本来事業に使われる。また、高知県高知市には、「高知こどもの図書館」というNPO法人がある。高知県より施設の無償提供を受けているが、2万冊の蔵書はすべて、30年間地域のこども文庫活動をしてきた個人の寄付により、3名の職員の給与も多くの会員からの会費と寄付によって賄われている。

白石市や高知市の例に見られるのは、もはや行政が豊かな予算をつぎ込めなくなった部門を、市民自身がリスクを負ってでも担っていかう動きである。一つ間違えば安上がりの下請け化になりかねないが、市民の創意工夫が

そんな思惑を大きく上回ることを期待したい。

一部悪質な例も

一方では、何のためにNPO法人になったのか首をかしげざるを得ないものも散見される。法成立本来の主旨もなかなか伝わっていないと言わざるを得ない例も多い。中には法人をつくってから活動を考えるという団体もしばしば見受ける。

また、当県の例ではないが、介護の会社の隠れ蓑にNPO法人を設立したとしか思えない悪質なケースもある。

しかし、それらは少数の事例で、一般的には、公益的な目的を掲げている以上、次第にそれ

なりの活動を作り出していくものと思われ、基本的にはあまり心配する必要はないと筆者は考えている。

NPO議員連盟が結成され、宮沢大蔵大臣から税制優遇の話がでるなど、NPO法見直しの機運はそれなりに高まっている。

昨年末の宮城県議会においても法改正の意見書が採択された。幸い、国政レベルでの自民党と民主党のNPO委員会の委員長は、本県出身の愛知和男氏と岡崎トミ子氏である。地の利を活かして活発なロビー活動を展開し、法改正の機運を高めたものだ。

皆様の更なるご協力をお願いしたい。

わたしたちNPOにとって、活動資金をどうやって獲得するかというのは、社会的に組織を認知してもらおうのと同じくらい大事なことです。そこで今回は、助成金申請のための企画書の書き方についてテラウェア研修で学んだことを書いてみます。

1 助成先を探る

わたしたちの助成金の提供先は、多くの場合、財団や自治体です。そこで、助成金の申請を書く場合、以下の5つのポイントを押さえて書くのと効果的です。

① 財団の収入源をサーチする、② 誰に向かって書いていくのかを確かめる、③ 助成対象は、主にどこのなかを確かめる、④ どういう形態で提出すればいいのを確認する、⑤ 助成先のニーズ（助成目的）はなにを確認する。

2 企画目的を明らかにする（自己評価）

企画書の提出先の分析ができて、どんな企画書を書けばいいのかが見えてきたら、続いては、自分たちの団体の自己評価をしつかりします。

テラウェアNPO研修レポート

第2回 企画書の書き方

紅色晶子

① あなたは、何をミッション（目的）としていますか、② あなたは、どういう問題を解決できますか、③ あなたは、なぜこの企画をやる必要があるのですか、④ あなたのこの企画の資源は何ですか、⑤ あなたのこの企画によりどんな成果を見込めますか。

これらのことを明らかにすること、提出しようとしている企画の自己評価を客観的にしやすくなり、企画書の結果の測定がしやすくなります。これに加えて、この企画を実現するため、コストを計算したり、この企画の効率性はどうかのななど、企画内容を数値化する。このようなポイントを知っていると、日常的な準備や情報収集、マネジメント力が問われてきます。

企画書は、それを書き上げる組織の背景、申請する企画内容を実現することは組織にとつてどういう意味をもっているのかを相手に十分に伝えることができるかがポイントだと思われました。

大好評！NPOマネジメント実践講座 主催：宮城県

当センターでは、宮城県が主催する「NPOマネジメント実践講座」(仙台会場)を、2月25日(金)～27日(土)の3日間実施しました。

今回は、参加者からの感想をもとに現場のNPO・市民活動団体の活動上の悩みや課題について振り返ります。

●1日目

NPO概論Ⅰ・Ⅱ

NPO法・その概要と法人申請手続き 等

- ・NPOと法人の違いが体系的に分かった
- ・漠然と「NPO」を使っていたことに反省
- ・組織の目的・ミッションの重要性が分かった
- ・日本と欧米に共通な「共感と参画」、日本に少ない「社会の変革」に痛感させられた
- ・自分の知識の確認になった
- ・人材確保=意欲×技能×時間
- ・NPOの資金源の優先順位を知れた
- ・目的→機会→責任→技能の構築
- ・参加者の意識の高さに驚いた

●2日目

マネジメント、組織体制、ミッションと戦略と資源、合意形成の技術
グループコミュニケーション 等

- ・講座のメンバーが興味深く、面白かった
- ・グループでコミュニケーションを図る時のルールがとても参考になった
- ・課題と優先順位の付け方を学んだ
- ・組織の代表と理事・事務局との役割分担の大切さを再認識した
- ・NPOマネジメントは企業のトータル・クオリティ・コントロールに通じると感じた
- ・NPOには3つの顧客があることに気付いた
- ・リーダーシップとフォロアシップの重要性

●3日目

資金調達、会計・税務・税金
戦略的事業計画づくり 等

- ・整理の手法を知るかどうかで存続か解散かの問題になるのではと気付いた
- ・当講座を受講しての報告会を明日早速することに決定した
- ・資料などから自分なりのテキストブックをつくります
- ・財団がどんな点に審査のポイントを置くのかがきけて大変参考になった
- ・会計・税務に関する問題が解決した
- ・受講経験を還元・貢献できるか責任重大だ
- ・大変だと思っていた3日間があっという間だった

今回は、講義を聞くだけでなくグループワークを行いながら議論を進めていく形式で講座を進めました。初めて知り合うNPO同志の交流になったことはもちろんですが、「知っている」と思っていたことの再確認、視点を変えての深い理解につながったのではないかと思います。

また、助成財団や税理士の方々から聞いた講義は、実践にすぐに活かせるものばかり。「目からウロコ」の話も多かったのではないのでしょうか。

今回の講座は、宮城県が受講生一人当たりに対し約2万5千円投資しての開催です。

今度は受講生がNPO活動上での実践を通して、この成果を社会に還元していきましょう。

私のNPO体験記

NPOセンタースタッフが感じ・体験した様々なNPOについてレポートします。

vol.3 布田 裕子

1年前は、NPOなんて言葉知りませんでした。はじめに耳にした時、社会の授業で習ったつけと焦ったり、ある人に「ニッポン」の略か、と言われても全然上手に答えられなかった私(実は、今でも自信がない)ですが、よく思い出してみると、あれが初体験かなあ。

その頃からポーツとしていた私は、全く憶えていないのですが、ある程度形になってきたなあと思い始めた矢先、ナント！私は、某老人ホームの体育館の壇上にいたのです。そうです。あの老人ホーム慰問というものです。しかも、その辺の小学生の集団が下手な芝居を見せに行っただけのことなのですが、。

それでも寸劇を終えるところ盛大な拍手、涙をこぼしながら喜んでいるおばあちゃんも見えました。その後は、おばあちゃんにお手玉を教えてもらったり、おじいちゃんにケンダマを教えてもらったり、とても楽しく過ごしたことは、今でもよく憶えています。

それがよほど嬉しかったのか、よほど印象にのこっていたのか、単純な私は、今年ようやくホームヘルパー12級を取得したのでした。先輩方どうぞよろしくお願います。

部会報告

新年第一回目は「持ちつ持たれつ新年会」と題し、食べ物&飲み物を一品持ち寄り行いました。たくさんの方々とおいしい料理が集りにぎやかな会となりました。初めて会う人同士も多く、まずは名刺交換から。自己紹介とそれぞれの活動について一人ずつ話す場では、人数が多くて時間が足りないくらいでした。参加して様々な活動をしている人がいることを知りました。今後の交流を期待したいと思います。

セナードサロン部会

安国 起世

2月のサロンは「NPOができる健康・医療のサポート」がテーマでした。「健康・医療」に関わる人もそうでない人もいろんな立場からこのテーマについて考える場となりました。前回の続きだと思い「一品」お持ちいただいた方も。(感謝!)さて、気になる話題は、「セルフヘルプグループ」はNPOとして社会から認められているのかいないのか、ということ。特殊なグループとみられがちでまだまだ社会の抵抗があるとか、いやその存在自体が必要であり、公益性があるのではないか。しかし行政はそれを認めようとしないうだ…など、この話題については議論の余地を残しました。

■次回 3月22日(水) ●時間 19:00より
●会場 市民活動サポートセンター研修室1

CCFサロンでは、4つのアクションプログラムが進行しています。

【企業とNPOによる国際インターンシップ】

(企業:インターサポートとNPO:アイセック)12月からインターサポートにイタリア・シチリアの大学生・マルコさんが訪れていました。今後、在仙の企業とNPOがどうパートナーシップを組んでいくか、課題を提供してくれました。【地元企業のNPO意識調査隊(参加者:会社員、学生、NPO)】現在、企業のNPO意識についてヒアリングを実施中です。3月末には報告書を作成する予定。興味のある方、お問い合わせ下さい。【預託システム研究会(参加者:NPO)】上記調査隊のアンケート送付時にヨタ研のアンケートも同封し、現在回収を進めています。寄付、預託に関心のある方、ご意見・ご要望をお待ちしています。

企業フィランソロピー部会

遠藤 智栄

【NPOのための経理・会員管理ソフト研究会(企業:フレンドリーシステムズ)】現在は、小休止中。メンバーも活動を活性化させるべく、現在情報を収集中。研究会への参加を大募集中です。

■次回 3月14日(火)
●会場 東北エニコム ●時間18:30より

NPOの会計・税務のための
実践集中講座 急遽開催へ!

2月・3月の[NPOマネジメント実践講座]の中でも、ここだけでも受講したいという要望が多かったのが、[会計・税務 NPOの会計・税金]。そこで、講師のNPOコンサルタント・税理士の早坂毅さんにご相談したところ、急遽、4月8日(土曜日)丸1日(午前10時から午後5時30分までの予定)の会計・税務のための講座を開催できることになりました。市民活動団体の経理を担当されている方は是非、ご参加ください。

なお、今回の講座は当センターの自主企画です。そのため、参加費は5,000円となります。(余談ですが、宮城県主催のマネジメント講座は、参加費無料ですが、1人あたり2万5千円の経費がかかっていると、樋口次長が話されていました。)

今回は、講座の後に、交流・相談会を予定。こちらのほうも楽しみにしてご参加いただければと思います。

- 日時:平成10年4月8日(土曜日)午前10時~午後5時30分まで
- 会場:仙台市戦災復興記念館
- 参加費:5,000円 ●定員:50名(定員になり次第締め切ります)
- お申し込み受け付け開始:3月15日(水)より
- お申し込み・問い合わせ先:せんだい・みやぎNPOセンター

東北リレートーク 山形県 山形市 山形創造NPOネットワーク

山形創造NPOネットワークは、3月で設立から丸1年になります。市民・行政・企業が連携・協働をしながら自主的・主体的な市民活動を進め、地域を作って行こうというネットワーク組織です。そして、この1年いろいろな事業を行ってきました。

多くの事業は、プロジェクトに分かれて進んでいます。プロジェクトはその提案者と一緒に、自主的に主体的に活動出来るメンバーによって進められています。このような進め方を私たちは「この指とまれ」と呼んでいます。現在、12のプロジェクトがあります。

その中に21世紀にはこんな時代にしたい、こんな山形にしたいという思いの実現に向けて「プロジェクト2000」というネーミングの事業を進めています。テーマは「つなぐ」です。

分野やセクターを越えた地域で活動する団体や

個人・企業・行政のメンバーで県内4地域で委員会を構成しています。そして、地域の課題解決に向けていこうと話し合いを重ね、多くの人々とのネットワークを作りながら進めています。

このプロジェクトの他にも、ユニバーサルデザインプロジェクト、ワークキャンププロジェクト等があります。また、地域活動者の交流の場であるサロンも、山形創造ネットワークのプロジェクトとして、いろいろな活動を展開しています。

この他に、これまで4回情報誌の発行やホームページによる情報提供を行っています。また、ボランティア・NPO相談員による相談事業も行っています。

私達はこれからも、多方面とパートナーシップを取りながら進んでいきたいと考えてます。

(須藤路子 山形創造ネットワーク事務局)

山形創造NPOネットワーク

〒990-0025山形市あこや町1-4-4

TEL 023-626-4372 FAX 023-626-4373

<http://www.yamagata-npo.ne.jp/>

Email: info@yamagata-npo.ne.jp

BOOK

「ここから日本はよみがえる」

筑紫哲也・福岡政行 編

発行・日本経済新聞社 1500円(税込)

「自由の森天学講座」とは、筑紫哲也学長の「結果を出した人、流れを変えた人、政治の現実や人間の葛藤の中で挑戦を試みている人の声を聞け」という考えから始めた公開講座である。この本はその記録である。この中で浅野史郎宮城県知事は、キーワードは「コミットメント（かかわりとか、人ごとでない、自分ごとである）」だと言う。「個人から発信した思いの強さと広がり、活動の魅力となっていく。魅力のある事業を行っているNPOがたくさんある県は、ずっと住みやすくなる。」と信じて、浅野知事は「宮城県はNPOを花盛りにする」と公言している。その他に、アサヒスーパードライを大ヒットさせたアサヒビール（株）の樋口会長をはじめ、それぞれの分野で「先頭走者」の役割を果たしている人。「結果を出している人」の論議が盛りだくさんに詰まっている。「前例がない。だからやる！」という樋口会長のバイタリティーで、アサヒビールは10%を切るシェアから、業界トップ（99年度40%超）に躍り出た。業績は説得力を持つ。ジャーナリストとして筑紫氏の視点は的確である。熱い思いは受講生に大きな影響を与えたに違いない。全体状況や他人のせいにするのではなく、「自分が何をやるのかを考えたい」と思い始めた人たちに、確実に元気を与えてくれる。

(ゆづささゆり)

センター・事務局関連

- ・市民活動フォーラムせんだい「NPO法人化講座」市民活動サポートセンター(1/23)
- ・ゆるる編集作業(1/24・2/18・21)
- ・セナードサロン「今年の抱負を語る」/セナードサロン部会(1/25)
- ・市民活動サポートセンター休館日(1/26)
- ・サポートセンタースタッフ全体ミーティング(2/2・9・16)
- ・調査隊 調査票発送作業(2/5 八木・高野・遠藤・松尾) ヒアリングオリエンテーション(2/10)
- ・CCFサロン/東北エニコム(2/16)
- ・事務局会議(2/21 加藤・紅邑・遠藤・青木)
- ・特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター第7回理事会(2/22)

NPO関連他

- ・河南町カナン未来塾(1/24加藤 2/17紅邑)
- ・土木学会/東京(1/27加藤)
- ・「NPO法による法人格取得について」講演/塩竈市体育協会(1/28加藤)
- ・北上ファシリテーター養成講座(1/29加藤)
- ・デラウェア大学NPO研修成果発表会(1/30 紅邑)
- ・デジタルコミュニティズ会議/東京(2/2加藤)
- ・埼玉県社会福祉協議会NPO研修(2/3加藤)
- ・まちづくり研究会(2/3 紅邑・遠藤)
- ・熊本市子ども劇場(2/6加藤)
- ・NPO経営指導者育成講座/北海道NPOセンター(2/6紅邑)
- ・鳴瀬町商工会婦人部(2/7加藤)
- ・国際交流基金日米センターNPOフェロウシップ事前説明会(2/8)
- ・第31回全国ボランティア研究集会・高知集会(2/11-13加藤・遠藤)
- ・高齢者福祉NPO経営支援事業/社会福祉法人東北福祉会(2/12 紅邑)
- ・職業情報分析講座レイトスクール21/すてっぷ・あつぷ21 金沢(2/14紅邑・青木)

- ・北上ファシリテーター養成講座(2/19 加藤)

自治体関連

- ・若林区職員研修会/若林区役所(1/25加藤)
- ・仙台市議会地方分権推進等特別調査委員会(1/28加藤)
- ・環境学習リーダー養成講座/市 環境局環境計画課(1/30加藤・遠藤)
- ・市民活動フォーラム実行委員会反省会(1/31 加藤・紅邑)
- ・高齢者福祉NPO経営支援研究会/宮城県(2/5紅邑)
- ・熊本県NPO講座(2/5加藤)
- ・仙台市社会教育委員会/市 生涯学習課(2/8紅邑)
- ・中心市街地活性化委員会(2/9 紅邑)
- ・クリーン推進委員研修/仙台市(2/9・14加藤)
- ・県 農村整備(2/16加藤)
- ・中核機能拠点整備委員会/県 生活・文化課(2/18加藤)
- ・環境学習リーダー養成講座 発表会(2/20 加藤・遠藤)

取材・ヒアリング・相談

- ・フリースペース斉藤さん 来訪(1/26)
- ・佐々木孝夫さん 相談(1/26 紅邑)
- ・古川市女性グループヒアリング(1/27 紅邑)
- ・県 農村整備課 4名様 相談(2/1 加藤・紅邑)
- ・あきう6000佐藤さん 来訪(2/4)
- ・富士教育センター 丸山さん(2/5 加藤)
- ・古川こども劇場 小玉さん 来訪(2/8)
- ・国際交流基金日米センター 古屋さん 来訪(2/8)
- ・パブリックリソースセンター 岸本さん 来訪(2/9 加藤・紅邑)
- ・あしなが育英会 田中さん他4名 来訪(2/9)
- ・東北大学 榊原さん 来訪(2/10 紅邑)
- ・ナビス 庄子さん 来訪(2/17 加藤)

◆まちづくり市民財団 巡回フォーラム開催のお知らせ◆

(財)まちづくり市民財団では、全国各地での「市民参加によるまちづくり」を進めるため、[NPOが活動しやすい環境をつくるために]というテーマで、東北地区5ヶ所で、巡回フォーラム開催することになりました。これを受けて、当センターでは東北各県の5ヶ所のNPO支援組織と共催で、この巡回フォーラムを開催します。開催予定日、開催地、地元実施団体は以下のとおりです。詳しい内容は、改めてお知らせします。

- ・ 4月25日(火) 岩手県北上市
- ・ 5月16日(火) 山形県山形市
- ・ 5月22日(月) 福島県会津若松市
- ・ 6月11日(日) 秋田県秋田市
- ・ 6月12日(月) 青森県青森市

これからの市民活動を考える会
山形創造NPOネットワーク
会津NPOセンター
あきたNPOセンター
あおりNPOサポートセンター

サポート・ご協力 ありがとうございます。

●平成11年度会員

(新規)コミュニティ・ライヴ、西和賀文化遺産伝承協会、古川の街づくりをすすめる女性の会
 (継続・正会員)雨宮孝子、林茂、川崎あや、国際彫刻シンポジウム実行委員会、山田晴義、宮田猪一郎
 (継続・準会員)面川義明、南條成子、小山厚子、パペットハウス、木村茂、津田新一
 (振込順、敬称略、12/17~2/22)

●事務局ボランティアスタッフ

緒方布美子、登坂宗太、内藤志保、長澤美代子、峯岸弘至、村上鮎美、高橋 香
 (敬称略、五十音順)

催しのご案内

●CCFサロン

テーマ：アクションプラン報告
 日時：3月14日(火) 18時30分～
 場所：東北エニコム 参加費：500円

●セナードサロン

テーマ：NPOができるNPOへのサポート
 日時：3月22日(水) 19時～ 参加費：500円
 場所：市民活動サポートセンター 研修室1

●NPOフェスタ2000 in 石巻

日時：3月8日(水)
 場所：石巻市 石巻文化センター
 メインゲスト：生島ヒロシ氏
 主催：宮城県、石巻市、石巻圏まちづくりデザイン会議
 問い合わせ：石巻圏まちづくりデザイン会議事務局
 電話：0225-93-8111

●NPOマネジメント実践講座 石巻会場

日時：3月10日(金)～11日(土)
 主催：宮城県
 企画・実施・問い合わせ：当センター
 ※満員御礼、締め切りました。

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804
 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
 tel 022-264-1281 fax 022-264-1209
 E-mail minmin@jca.ax.apc.org

◆あなたもNPOサポーターになりませんか!◆

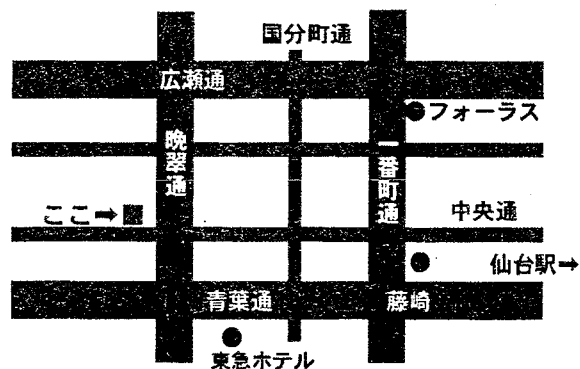
せんだい・みやぎNPOセンターの基盤は、会費によって支えられています。ぜひ、ご入会いただき当センターのサポーターになつてと共にNPOの志や思いを社会的な力に変えていきましょう。

■NPOの会計・税務のための実践集中講座

日時：4月8日(土) 10時～17時30分
 参加費：5,000円(会員 4,500円)
 定員：50人(先着順)
 場所：仙台市戦災復興記念館
 お申し込み受け付け：3月15日(水)から
 主催：当センター

急速開催!

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15～20分
 1Fのファミリーマートが目印



みんな編集後記

□2月のお言葉。●会計は、誰のための会計かという利害関係者のためであり、何のための会計かという、入ってくるお金と出ていくお金の行方を確認するためのものである。つまり、お金が動いたら記録することが会計で、その記録方法は自分が利害関係者に説明しやすいスタイルが良いのです。(NPOコンサルタント・早坂氏) NPOの奥は深い。(紅島) □サボセンも年度末。利用者の方々もスタッフも市民活動支援室もてんこまいの忙しさ。積み木を無造作に積み上げたような複雑極まる建物の中をいろんな人が走り回っています。時には、同じ人に何回もあいさつしたりして…。でもこういう時こそ落ち着いて業務をこなして、初めての「北国の春」を無事に迎えたいものです。(工藤) □最近、時が過ぎるのがとっても早い。昨年秋のNPOフォーラムが半年前、環境学習の発表会が先々週、私がセンターの常勤になって1年もたっていないとは…。友人からもセンターでスタッフになって2～3年たつんじやなかったけなんて言われるし。皆さんの最近はいかがですか?(遠藤)

●みんな編集部にご感想をお待ちしています。もうすぐ花見、飲み過ぎに注意してくださいね。